

大宮

THE OHMIYA HACHIMAN

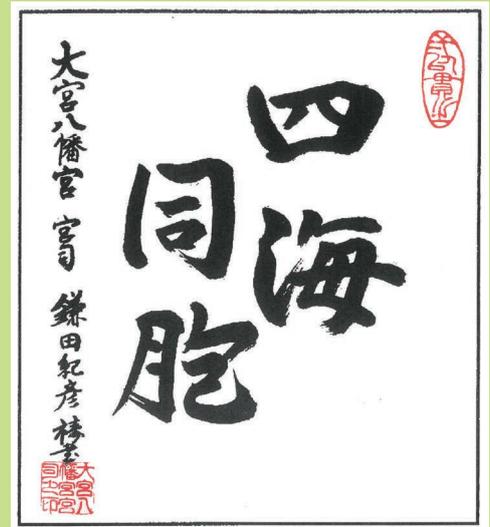
令和6年(2024)

皇紀2684年

令和6年わかば祭り(春の大祭)号

【第129号】





今年、元旦早々能登半島を中心に起きた地震により犠牲となられた多くの方々にまづもつてご冥福をお祈りし、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

前回の新春号(第128号)にも書かせていただきましたようにロシアのウクライナ侵攻による戦い、中東のイスラエルとハマス(ガザ)の争いも沈静化するどころかイラン・イラクとの争いへと発展しているようであります。

我が国では、明治37年(1904年)の日露戦争開戦直後に、第122代明治天皇の御製に

『よもの海
みなはらからと思ふ世に
など波風の
たちさわぐらむ』

訳 (世界の国々はみな兄弟姉妹だと思っているこの世の中で、なぜこのように波風が立ちあがるのであろうか)

と詠まれた一首があります。

欧米列強のアジア進出は我が国にとって最大の懸案であり、朝鮮独立への対応をめぐって明治27年に、日清戦争開戦となりました。清国軍隊に勝利したにもかかわらずロシアなどの三国干渉により、下関条約で得た遼東半島を返還させられました。

ロシアの東方進出を阻み、国家の独立を守るため、明治37年に大國ロシアとの間に日露戦争が勃発。我が国の総力を挙げた戦いで旅順攻略戦、日本海海戦などに勝利を収め、世界から日本に対する賞賛の声があがりました。

我が国をめぐる国々との和平を常に願われていた明治天皇にとっては、ロシア王国との厚誼もあり、無念の開戦でありました。また、この御製は英訳されて世界中に感動を呼び、特に米国のセオドア・ルーズベルト大統領の心を動かして、ポーツマス講和会議仲介の一助となったと伝えられています。

近代日本の命運を担って偉大な指導力を発揮された明治天皇でありましたが、明治45年7月30日、崩御されました。明治天皇がその生涯を通じて多忙なご政務の中で常にご自身の御心を見つめられお修めになったのが

「しきしまの道」(和歌)でありました。詠まれた御製の数は実に9万3千首を超え歴代天皇の中でも随一であります。

古来より、春の大祭わかば祭り当日祭(尚武祭)は、秋のお祭り・新嘗祭(いなめさい・しんじょうさい)と一対の祈年祭(としごいのまつり)であります。

祭典では皇室を中心とする我が国の隆昌と世界の平和を祈り、今年の五穀豊穡とあらゆる産業の発展、ご家業の繁栄、氏子崇敬者のご家庭の平安をお祈りさせていただきます。青葉繁る大宮の杜へお運びくださいますようお願い申し上げます。

宮司 鎌田 紀彦

参考文献

「公社」国民文化研究会・編著
『歴代天皇の御製集』
(致知出版社2023年)

わかば祭り(春の大祭)

御神苑の木々の緑も鮮やかな風薫る季節となりました。5月3日より5日までわかば祭り(春の大祭)を盛大に斎行いたします。先立つ4月29日には、昭和天皇のご聖徳をおたえ申し上げる昭和祭が斎行されます。大祭初日の3日には、**第一日ノ儀**こどもの祭り(稚児健康祈願祭)を斎行、第43回稚児行列が行われます。4日は、**第二日ノ儀奉告祭**と午後には**植樹祭(献木式)**が行われ、献木のご協賛をいただいた方に観葉植物が授与されます。5日には**当日祭(尚武祭)**が大祭式にて斎行されます。当日祭(尚武祭)では、茶道裏千家淡交会第6東支部による**奉茶の儀**が行われ、宮司の祝詞奏上にて皇室国家の安泰・弥栄、五穀豊穡が祈念されます。5月3日・4日には表参道にて春の風物詩**大宮八幡植木市**が開かれ、神門内では4月28日・29日、5月3日～5日に**みどりの会即売**が行われ、ご神前では多くの**神振行事**が奉納されます。なお、5月11日には第24回を迎える**茶道裏千家献茶式**が行われます。

第43回稚児行列

大祭初日の3日には、午前11時より稚児行列が行われます。わかば祭り**第一日ノ儀(稚児健康祈願祭)**終了後、社殿前で記念撮影をし、佼成学園吹奏楽を先頭に猿田彦、陣羽織姿の役員総代、りんどう会役員の供奉に続いてお稚児さんたち、BS・GS、飛び入り参加自由の太鼓山車曳きの子どもたちの行列が神門を出発、神社周辺の1・3キロを練り歩きます。稚児は神々の依代とされ、その奉仕をすると健やかに成長するといわれています。



大宮八幡植木市

表参道では大祭期間中の3日・4日に春の風物詩**大宮八幡植木市**が開催されます。色鮮やかな花々や新緑の苗木、園芸用品などが並べられます。

献木のお祝いと観葉植物の授与

5月4日(みどりの日)は午後2時より大宮八幡宮**植樹祭(献木式)**が斎行されます。当宮みどりの会主催で第74回全国植樹祭(5月26日、岡山県岡山市にて開催)に因んで斎行され、各ご家庭にも緑を届けようと**献木**のご協賛をいただいた方々には**観葉植物**が授与されます。献木のご協賛は社頭にて承っております。

献木初穂料 一口 二、〇〇〇円

※年間を通じて承っております。但し、観葉植物の授与は植樹祭にご協賛の方のみとさせていただきます。

わかば祭り(春の大祭) 祭典と奉納神振行事

祭典

昭和祭

躑躅育木祭並びに皇月朔旦祭 5月1日

わかば祭り**第一日ノ儀** 5月3日

こどもの祭り(稚児健康祈願祭)

第43回稚児行列巡行

江戸消防記念会第九區奉納梯子乗り 5月3日

わかば祭り**第二日ノ儀** 5月4日

大宮八幡宮**植樹祭(献木式)**

(主催みどりの会) 5月4日

わかば祭り**当日祭(尚武祭)** 5月5日

奉茶裏千家(淡)東京第6東支部 5月5日

わかば祭り**終了奉告祭(直会乃儀)** 5月5日

神振行事

春の弓道奉納射会 4月29日

ユニセフバザー 5月3日

スカウトバザー 5月3日

佼成学園吹奏楽部奉納演奏 5月3日

古武道武技奉納 5月4日

杉並太鼓奉納 5月4日

野点茶会 5月5日

(裏千家淡交会東京第6東支部)

方南エイサー踊り奉納 5月5日

雅太鼓奉納演奏 5月5日

奉納献燈提灯 4月29日～5月12日

園児画展 4月29日～5月12日

みどりの会即売

4月28日・29日、5月3日～5日

大宮八幡植木市 5月3日・4日

露店 5月3～5日

第24回茶道裏千家献茶式 5月11日

昭和祭実行

昭和天皇のお誕生日にあたる4月29日(昭和の日)午前10時より、昭和天皇のご聖徳をおたえ申し上げる**昭和祭**が中祭式にて厳肅に斎行されました。昭和天皇は、御父君の大正帝の摂政宮を務められたのち、若くしてご即位され、戦前(16年間)、戦中(4年間)、戦後(43年間)の62年14日間で、明確な記録が残る歴代天皇の中で最も長く在位されました。終戦後我が国は、国民のたゆまぬ努力によって戦後の焼け



戦後(43年間)の62年14日間で、明確な記録が残る歴代天皇の中で最も長く在位されました。終戦後我が国は、国民のたゆまぬ努力によって戦後の焼け

毎月お朔日参りには 月代り御幣守護を!!

当宮では古くより朔日(二日)、十五日に月参りをされる方々が多く、こうした方々に年間を通じて八幡大神様のご神威をお受けいただくこと、毎月の朔日祭に併せてお朔日参りのご祈願として「月参り大御幣振り神事」を奉仕して「月代り御幣守護」を授与しております。

月毎にお申し込みの場合は初穂料三〇〇〇円、年間一括でお申し込みの場合は初穂料三〇、〇〇〇円にて齎行させていただきます。 だいております。



野原から立ち上がり、見事に復興し、世界第2位の経済大国にまで発展を遂げましたが、そこには昭和天皇が香淳皇后とともに、常に国民に寄り添い「国安かれ、民安かれ」と世界の平和を祈られた尊いお姿がありました。昭和祭は昭和の日制定に伴い、平成19年から奉仕いたし今回で18回目を迎えます。

江戸消防記念会第九區 奉納梯子乗り

春の大祭期間中の5月3日、江戸消防記念会第九區による奉納梯子乗りが行われます。江戸の火消しでもあつた鳶職人の訓練として、江戸時代に始まったとされる梯子乗りは勇壮で、長年培われた伝統と技術が観る人を圧倒させます。



第24回茶道裏千家献茶式

5月11日に第24回裏千家献茶式が茶道裏千家今日庵(藤野)斎斎千玄室(先代15代家元)のご奉仕にて齎行

新春社頭往来

1月1日	能楽師	野村 昌司氏
1月2日	立正佼成会会長	庭野 日鏡氏
1月2日	立正佼成会理事	熊野 隆規氏
1月2日	立正佼成会常務	橋本 正晴氏
1月2日	立正佼成会杉並教会長	川本 貢一氏
1月2日	立正佼成会時務部長	榎本 光良氏
1月2日	弓馬術礼法小笠原教場	小笠原清忠氏 他42名
1月4日	三十一世宗家	
1月4日	日本ブライダル文化振興協会	会長 清原 當博氏
		前会長 勝保 伸氏
		専務理事 野田 兼義氏
1月12日	大國魂神社宮司	猿渡 昌盛氏
1月16日	日枝神社宮司	宮西 修治氏
1月19日	黄檗売茶流家元	通仙庵孝典氏
1月27日	弓馬術礼法小笠原教場	鷹野 洋氏
		星野 達郎氏
		令夫人 眞理子様

されます。宮司の祝詞奏上の後、満101歳を迎えられた大宗匠のお手前にて濃茶と薄茶がご神前に献じられます。境内では裏千家淡交会東京第7支部の奉賛により早朝より添釜茶会が催されます。また大宮幼稚園では園児茶席が開かれ、園児たちが日頃のお稽古の成果を披露します。

献燈提灯奉納のご案内

わかば祭りの期間、4月29日から5月12日まで皆様方のお名前(ご社名)を入れた献燈提灯を掲出いたし、ご社頭を賑々しくお飾りさせていただきます。



春の大祭後の主な行事(予定)

御嶽榛名神社例祭	5月16日
第45回大宮さつき展	5月25日〜6月2日
神功皇后祭	6月3日
大祓詞書写会	6月22日〜29日
事前大祓	6月22日〜30日
夏越の大祓・茅の輪くぐり	6月30日
第26回乞巧奠	7月1日〜15日
大宮八幡乞巧潜り	7月1日〜15日
七夕の神遊び(技芸上達祈願祭)	7月7日
七夕の神遊び(雅楽と神楽舞)	7月上旬
雅楽の夕べ(雅楽と神楽舞)	7月上旬
第24回納涼大宮天神こどもまつり書画行燈掲出	7月24日・25日
第24回杜のひびきinおみや(和太鼓演奏)	7月24日・25日
多摩清水社例祭(水神祭)	8月1日
第41回戦没者慰霊祭	8月15日
第24回十五夜の神遊び・月の音舞台	9月21日
別当墓地秋季慰霊祭	9月22日

杜の話題

新春の表情

元日午前零時、新玉の令和6年の幕開けを告げる宮司の一番太鼓が境内に響き渡り、神門が開かれると新春を祝う参拝者で境内はあふれかえりました。ご社殿ではまず、**神能「翁」**が観世流シテ方能楽師の野村昌司師により奉納され、続けて宮司奉仕による**歳旦祭併せて新春厄除開運初大祈願祭（一番祈願祭）**を斎行し、新たな年の幸を祈りました。続いて午前2時30分には宮司により多摩清水社にて**若水**が汲まれ、ご神前にお供えされました。午前10時、立正佼成会庭野日鏡会長以下役員の方々が参拝され、一年の平安を祈念されました。2日は、



小笠原流宗家による恒例の新春除魔**神事臺目の儀・大式的**が奉納されました。3日には皇位の大元始めを寿ぐ**元始祭**が午前9時より斎行されました。



とんど焼き

小正月の恒例の行事である**とんど焼き（古神矢・古神札等焼納祭）**が、1月15日に斎行されました。ご社殿にて**月次祭並古神矢・古神札等焼納奉告祭**斎行ののち、境内の斎場で**古神矢・古神札等焼納祭**を斎行。祝詞奏上後の**火鑽神事**では御火鑽具を用いて浄火が熾され神職・参列員らが**大祓詞**を奏上する中、**古神矢・古神札・正月飾り**が焚き上げられ、感謝と除災招福を祈りました。



生や保護者が参列し、合格・学業成就を祈願しました。

初天神大祭

1月25日、大宮天満宮にて**初天神大祭**が斎行されました。年初の天神祭はちょうど受験のシーズンとも重なるため、受験

文化財防火デー消防訓練

昭和24年1月26日、奈良・法隆寺の金堂より火災が発生し、国宝の十二面壁画を焼失してしまいました。火事による貴重な文化財の消失を防ぐため、この日は**文化財防火デー**に制定され、当宮では**杉並消防署**のご指導のもと、毎年この日に**消防訓練**を行っています。午前10時、社殿より出火との想定で訓練を開始。通報連絡、避難誘導、初期消火に続いて**杉並消防署**、**当宮自衛消防団**、**当宮自衛消防隊**により、ご社殿の屋根へ向かって**一斉放水**を行いました。地元大宮地区町会の皆さんにもご参加いただき地域の防災意識を高めました。また、幼稚園でも**車輦見学**など防災意識を高める取り組みが行われました。



節分祭 一年の邪気を祓う



季節の変わり目である立春・立夏・立秋・立冬の前日を節分といい、年4回のうちの特に立春前日の節分には、一年の邪気を祓う重要な神事が行われてきました。当宮では、午前10時より**節分祭**を斎行。祝詞奏上の後に、**桃の弓・葦の矢**で「天・地・裏鬼門」の魔を射る**追儺の除魔神事**を奉仕しました。ついで外拝殿大前にて**弓に矢を番えず**に弦を鳴らす音で魔を退散させる**鳴弦の儀**が宮司奉仕により行われまし。次に当宮幼稚園の園児たちも参加して**豆撒き神事**を行い、ご参拝の皆様も参加しました。



大宮稻荷神社初午大祭

大宮稻荷神社

社の初午大祭が本年は2月12日に斎行されました。本年より、募集している初午大祭の幟のレイアウトが変更され、四字分長くなりました。大祭当日は多くの初午幟奉納者にお集まりいただき、奉納された210基の深紅の初午幟がはためく中、宮司以下祭員により斎行され、商売繁昌、家内安全を祈念しました。当社には姉妹友好神社の竹駒神社（宮城県岩沼市鎮座）も祀られており、同社の初午祭は旧暦で斎行され（本年は3月23日）、陸奥に春を告げるお祭りといわれています。



大野とくよ刀自命一年祭 並びに歌碑移設

歌人大野とくよ様をご逝去されてから一年が経ち、当宮茶室神泉亭にて一年祭が斎行されました。当宮には「桃の歌人」とも呼ばれた大野とくよ様の歌碑が神門前に立てられており、一年祭斎行に併せてより見やすい位置に移設されました。



紀元祭並檀原神宮選擇

2月11日は紀元

節と呼ばれ、神武天皇が檀原の宮にご即位されて我が国が建国された記念の日です。午前10時、まず社殿にて紀元祭を中祭式にて斎行。ついで清涼殿の特設齋場にて檀原神宮を選擇。「紀元節」の歌を声高らかに斉唱し、聖寿萬歳三唱。皇紀2684年をお祝いしました。



天長祭

2月23日、天長祭

が中祭式にて宮司以下祭員奉仕により厳粛に斎行されました。引き続き清涼殿の特設齋場にて皇居を遙拝、聖寿の萬歳を三唱。天皇陛下のお誕生日をお祝いし、陛下のご長寿、国の弥栄を祈念いたしました。



梅花祭

2月25日は天

満宮の御祭神である菅原道真公の命日にあたり、梅の花をこよなく愛でられた道真公を偲び梅花祭



が斎行されました。梅が枝、梅花米がお供えされ、天神様を崇敬する多くの方々が参列しました。

新春吉例 伊勢参宮旅行

新春恒例の伊勢参宮旅行が2月26日から28日にかけて行われ、今回は21名が参加しました。一行はまず東京駅より伊勢の神宮外宮へ向かい御垣内参拝。次に内宮を御垣内参拝し、大々神楽を奉納しました。その後おかげ横丁を散策し、鳥羽シーサイドホテルに宿泊。2日目は滋賀県甲賀市に鎮座する田村神社を正式参拝後、当宮の本宮である石清水八幡宮を正式参拝。夜は京の奥座敷で有名な湯の花温泉「溪山閣」の名湯を満喫しました。最終日は兵庫県丹波篠山市に鎮座する澤田乃宮八幡神社を正式参拝後、篠山城（大書院・天主台等）を散策しました。大正ロマン館で休憩（買い物）、古民家（りょうり舎やまゆ）で昼食後、城下町の丹波焼の丹波古陶館を見学し、帰途につきました。



澤田乃宮八幡神社



石清水八幡宮

東日本大震災・能登半島地震復興祈願

「私どもは3・11を忘れません」

3月11日、当日の朝御饗祭では、復興祈願の祝詞を奏上し、大祓詞3巻を奉唱しました。また、地震発生時刻の午後2時46分にはご参拝の皆様にもお声がけし、東日本大震災、そして本年1月1日に発生した能登半島地震の犠牲となられた方々へ1分間の黙禱を社殿前にて捧げました。



一万人のお宮奉仕 境内清掃奉仕

全国各地の神社仏閣にて清掃奉仕活動を展開している一万人のお宮奉仕の活動が3月22日に第7回目が当宮にて行われました。正式参拝の後、境内の掃き掃除などの奉仕活動を行いました。奉仕終了後に神職より講話を受けました。



竹駒神社 例祭参列

3月23日、当宮と姉妹友好神社の関係を結ぶ宮城県竹駒神社(村田守広宮司)の初午大祭(例祭)が斎行され、宮司、藤枝・末柄両役員が参列しました。



杉並税務署 新入社員奉告参拝

3月27日、杉並税務署より鳴原署長、新入職員2名が来宮し、入署奉告参拝を行いました。



勧学祭(ランドセルお祓い式)

小学校入学を祝いお子様の成長を祈念する勧学祭(ランドセルお祓い式)が、3月30日・31日に執り行われました。大きなランドセルを背負った新一年生たちが、緊張と期待の入り交じった面持ち



で祭典に参列し、小学校生活の充実と交通安全をお祈りしました。参列の皆様にはランドセルお守りと合格鉛筆、交通安全ステッカーが授与されました。

大宮八幡桜まつり開催

4月6日から4月14日にわたって桜まつりが開催されました。当宮境内より和田堀公園内の善福寺川沿いには約700本の桜があり、時季になると一斉に開花して春を彩ります。期間中の土曜・日曜は午後8時まで開門、和田堀公園への往来も可能になり、境内には神楽殿前のベンチに緋毛氈が掛けられ朱傘が設置されました。篝火がたかれ、竹灯籠が点され、神社の風情を味わいながら春の一刻を多くの参拝者が楽しんでいました。また、期間中には桜の花びらがあしらわれた限定御朱印が授与されました。



りんどう会だより



1月15日、とんど焼き神事(古神矢・古神札等焼納祭)に併せて、恒例の厄よげぜんざいの授与奉仕を行いました。今年一年の無病息災を願って、丹波篠山産の大納言を用いてご神火で調理した厄除ぜんざいを多くの参詣の方々にお召し上がりいただきました。

また、4月27日には、春の大祭に向けて、御垣内清掃奉仕が行われました。大宮八幡宮敬神婦人会(りんどう会)では、随時会員を募集しています。お気軽に事務局(社務所)へお申し込みください。



氏子青年会だより

3月17日、氏子青年の集いが総合結婚式場清涼殿羽衣の間・蓬莱の間にて行われました。開催に先立って社殿にて正式参拝が行われた後、当宮宮司をはじめ来賓17名、合計45名が出席し盛会となりました。



戌の日詣りは 子育八幡さまの当宮で 安産祈願祭を!

※戌の日以外でも随時お受けしております。ご祈願の方には大宮八幡息長帯(安産腹帯)と共に、へその緒で結ばれたお母様とお子様ご健康にご出産の時を迎えられますようにとの願いが込められた「母子緒守」「安産御守」「安産祈願絵馬」を特別に授与しております。



戌の日早見表

(令和6年5月~9月)

9月	8月	7月	6月	5月
7日(土)	2日(金)	9日(火)	3日(月)	10日(金)
19日(木)	14日(水)	21日(日)	15日(土)	22日(水)
	26日(月)		27日(木)	

は大安

大宮八幡の杜 春から夏へ

神功皇后祭

令和元年は、ご祭神であります神功皇后が摂政69年（269年）、陰暦の4月17日に御歳百歳で神上がりましてより1750年の式年にあたり、その年の皇紀929年の月日を太陽暦に換算した6月3日、神功皇后千七百五十年式年大祭を斎行しました。翌年より、まず御陵の狭城盾列池上陵（奈良県）を遙拝し、神功皇后祭を斎行いたしております。神功皇后（息長帯比売命）は、主祭神応神天皇の母君であることから、聖母大神ともたたえられています。安産子育ての神として厚い崇敬を集め、戌の日には多くの安産祈願を受けられる参拝者で賑わいます。



大祓詞浄書（水無月書写会）

大宮八幡塾水無月書写会

書写会では夏越しの大祓に併せて、6月22日から29日までの間、りんどう会と共催で大祓詞書写会を開催します。期間中は午前9時半～午後3時半まで茶室神泉



亭にて随時受付しており、約900字の大祓詞を書写して大神様のご神徳を戴きます。なお、浄書された大祓詞は大祓に引き続いて行われる奉納奉告祈願祭にて神前に納められます。

水無月 夏越しの大祓



6月30日は、午後4時より夏越しの大祓が斎行されます。大祓は6月と12月の晦日に行われ、歴史は古く平安時代の儀式書である『延喜式』にも記されており、知らず知らずのうち

に犯した罪や穢れを祓い清める神事です。一般の方々へは6月22日から事前大祓を行います（30日午後3時まで）。罪や穢れを移した形代を唐櫃に納めた後に神職のお祓いを受け、茅の輪・笹の輪を潜っていただき、当日と同じ形で大祓神事を行います。なお、30日当日午後4時の祭事は神職と神社役員のみにて執り行います。



「水無月の夏越しの祓する人は千歳の命延ぶというなり」

平安の雅び第26回乞巧奠と 平成の七夕大宮八幡乞巧奠潜り

7月1日から15日まで、第26回平安の七夕乞巧奠が開催されます。清涼殿ロビーにて乞巧奠を再現します。技芸上達を願う乞巧奠は、古く平安の世より宮中を中心に広く行われた行事であり、現代でも堂上家であった冷泉家において行われております。また、神門前には梶の葉や五色の布を付けた平成の七夕大宮八幡乞巧奠潜りが設けられます。



大宮八幡乞巧奠潜り



乞巧奠

「乞巧守」を奉製

「大宮八幡乞巧守」を7月1日（文月朔日祭）より25日の大宮天神こどもまつりまでの期間限定で授与します。笹竹に紅白の七夕人形が付けられ、学業や技芸の上達を祈願します。



第24回納涼大宮天神こどもまつり 杜のひびきinおのみや

7月24日と25日の両日にわたり、第24回納涼大宮天神こどもまつりが行われます。24日は午後5時より大宮幼稚園園児、近隣の小中学生、崇敬者の方々からご奉納いただいた多数の書画行燈の献灯式が行われ、幻想的な雰囲気の中宵宮祭を斎行いたします。翌25日は午後5時半より大宮天神こどもまつりが斎行され、祭典の後こどもあかり神輿が元氣よく巡行します。午後6時半には杜のひびきinおのみや（時間をはずした日の祭事）が開演され、和太鼓奏者の響道宴氏による勇壮な和太鼓の演奏併せてかむのの剣舞が奉納されます。神門前



書画行燈の募集

納涼大宮天神こどもまつりにあたり、「書・画」の作品を募集します。奉納された書や画は、行燈に貼って灯りを点し、7月24日の夕刻より大宮天神祭の献灯としてご社殿前に掲出されます。書または水彩画は指定の用紙を、必ず横長に使用してご奉納（応募）いただいております。（※用紙は社務所にあります。「無料」）



では子供のミニ花火の集いが催され、大勢の子供たちで賑わいます。氏子青年会の模擬店(夜店)も両日出店されます。

多摩清水社例祭



8月1日は、葉月朔旦祭に引き続き御神水の湧き出る多摩清水社の例祭が斎行されます。水の大切な盛夏の時期に、水神様の御神徳をた

え水の恵みに感謝の誠を捧げるお祭りです。神門を出た入口には、俳人阿波野青畝の「広き野に霊の清水のあるところ」と詠まれた句碑があります。

第41回戦没者慰霊祭

8月15日、第41回戦没者慰霊祭が斎行されます。当宮及び兼務社の氏子地域より出征された戦没者の英霊たちに感謝と追悼の誠を捧げ、世界平和を祈念します。



大宮八幡祭り(秋の大祭)

祭典日程のお知らせ(予定)

本年度の大宮八幡祭り(秋の大祭)は左記の日程により斎行されます。

*9月13日(金) 神輿神霊入れ祭・若宮八幡神社並白幡宮例祭

*9月14日(土) 宵宮祭

*9月15日(日) 例祭併せて氏子奉幣祭・第36回神輿合同宮入り

*9月16日(祝) 神輿神霊返し祭

第11回フォトコンテスト作品募集中 ~締め切りせまる~

大宮八幡宮の自然や祭典行事風景を、プロ、アマ問わず写真愛好家の方々の目で写し撮って、その作品を八幡大神様にご奉納いただく、第11回フォトコンテストを開催いたします。

今秋の大宮八幡祭り(秋の大祭)より境内に展示し、ご参拝の皆様にも楽しんでいただけます。

プロ・アマ・年齢不問
小・中・高校の学生さんも歓迎!
応募作品についての詳細は、社頭やホームページ上にてご確認ください。

協力写真店
フォトグラフ三光堂(大宮八幡宮入口)
カメラハウス本店(久我山)

締め切り日

令和6年7月31日

募集サイズ:
2L・4ツ切サイズ

大宮八幡宮に関係した作品であれば、風景・人物・行事等テーマは自由です。(1人5点まで)



審査風景

但し、各神事での撮影禁止事項をお守りください。

*入賞作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、使用权は主催者に帰属するものとし、展示や当宮の出版物・広報・インターネット等に無償で使用させていただきます。(※各媒体掲載時には、氏名のみを掲載させていただきます。)

過去10回の最優秀賞(宮司賞)入賞の作品



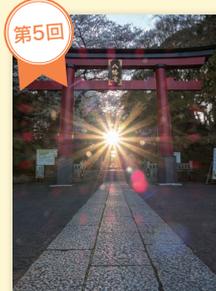
第1回

『当たれ!』大野 貴義氏



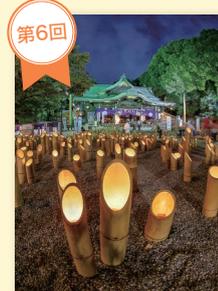
第2回

『祭りだワッショイ!』大野 貴義氏



第5回

『後光さす八幡宮』
早川 幸子氏



第6回

『竹取りの物語り』
久保田 彬洋氏



第3回

『後押し』杉園 幸司氏



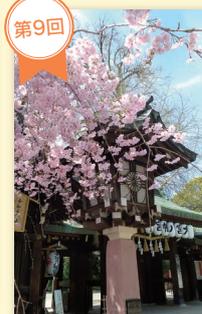
第4回

『十五夜の神遊びで神様もお喜び!』
奥村 泰子氏



第8回

『お父さん、コロナ退散するといいね』
畠山 敏郎氏



第9回

『枝垂桜と燈籠』
濱田 文夫氏



第10回

『屋越の臺目乃儀』
佐藤 多紀氏



第7回

『明日へ』小竹 秀雄氏

初宮詣芳名(敬称略)

(令和5年11月21日・令和6年3月20日)

お子様のお健やかな成長をお祈りいたします

- 桑島愛 古瀬蒼波
- 橘佑義 白石百恵
- 濱田紘希 藤田千晴
- 兼平ゆりあ 柳谷葉月
- 渡邊遥 安部葉真
- 平川まりん 幸福晴
- 平川みつぎ 佐藤風
- 小山純広 伊東優杏
- 秋間郁里 鈴木悠陽
- 中嶋權 滝沢日葵
- 袴田翔仁 山崎陽太
- 長沢玲花 落合玲実
- 井澤玲衣 吉田楓
- 勝山悠人 北唄羽
- 佐々木慧 内藤英佑
- 大谷巴絵 和田渚
- 鈴木晴臣 駒谷莉杏
- 大川紗英 山田優人
- 小林未波 梅田結衣
- 棚橋玲仁 荻原百世
- 菊地修吾 仲木稟
- 吉野心結 小島紗夕
- 櫻内稔也 中村莉緒
- 吉野仁樹 井川羽澄
- 野寄香帆 石井杏
- 伊東穂高 内藤零
- 名徳菜瑠 保坂咲茉
- 阿久津康一 佐藤柚月
- 三井楓葉 吉田杏士
- 税所杏 益満晴也
- 税所苺 貝川颯
- 今村岳 馬場瑛帆
- 八ドソソ吏毅 島田理久
- 稲村咲風 但山汐風
- 黒木咲風 種田翠
- 玉村晴那 渡辺智志
- 小島羽未 黒田朱莉
- 小島昊来 渡辺一颯
- 久下真綾 松田茉莉
- 宮園空 田邊光莉
- 大屋心乃 浅尾月
- 馬場のあ 木谷想太
- 中西創 小口理仁
- 齋藤楓 片岡鈴
- 本間愛 伊藤凜哉
- 須永明里 平晴陽
- 濱口莉穂 佐藤夏大
- 濱口穂穂 前川葵
- 濱口穂穂 十代田琳
- 長澤伊鶴 泉阪咲奈
- 長澤伊鶴 大塚朝陽
- 野崎善斗 野崎善斗
- 坂田青嶺 坂田青嶺
- 久保颯介 山中紫乃
- 山中紫乃 遠藤凜空
- 遠藤凜空 中井瑛翔
- 内山翠 飯島岳
- 飯島岳 山本悟
- 山本悟 吉川陽風
- 吉川陽風 原唯翔
- 原唯翔 秋山麗斗
- 秋山麗斗 小野崎優斗
- 小野崎優斗 増子翔己
- 増子翔己 伊藤翠音
- 伊藤翠音 内山悠
- 内山悠 齊藤杏
- 齊藤杏 吉成紗菜
- 吉成紗菜 綱島颯太
- 綱島颯太 服部瑠実
- 服部瑠実 長住真実
- 長住真実 佐々木瑛梨
- 佐々木瑛梨 町村智晴
- 町村智晴 清水唯希
- 清水唯希 飛田隆之介
- 飛田隆之介 酒井麻衣
- 酒井麻衣 阿部涼月
- 阿部涼月 木村日織
- 木村日織 加納心遙
- 加納心遙 高橋杏
- 高橋杏 田中善
- 田中善 赤土暖
- 赤土暖 松下真白
- 松下真白 浅尾月
- 田中明樹 横山鈴乃
- 横山鈴乃 内山統稀
- 内山統稀 野中倫実
- 野中倫実 茂木みちる
- 茂木みちる 原愛実
- 原愛実 濱野悠成
- 濱野悠成 鈴木一零奈
- 鈴木一零奈 須永明里
- 須永明里 平晴陽
- 平晴陽 長澤伊鶴
- 長澤伊鶴 岡田佑真
- 岡田佑真 勝こはる
- 勝こはる 勝木市斉
- 勝木市斉 岡野市斉
- 岡野市斉 荒木權
- 荒木權 山田結月
- 山田結月 尾上絆
- 尾上絆 高辻千瑠
- 高辻千瑠 土屋奏翔
- 土屋奏翔 川嶋友斗
- 川嶋友斗 安藤寿珠
- 安藤寿珠 海江田莉美
- 海江田莉美 澤田京紬
- 澤田京紬 菅谷光
- 菅谷光 塚原想翔
- 塚原想翔 川端琴葉
- 川端琴葉 佐々木碧央
- 佐々木碧央 廣原澄香
- 廣原澄香 寺田才椽
- 寺田才椽 坂上琉
- 坂上琉 内海心遙
- 内海心遙 猪又颯真
- 猪又颯真 渡邊惺月
- 渡邊惺月 松本灯真
- 松本灯真 鈴木日夏乃
- 鈴木日夏乃 伊藤麦
- 伊藤麦 伊藤暖
- 伊藤暖 齋藤迅
- 齋藤迅 内藤美羽
- 内藤美羽 橋本重令
- 橋本重令 石本詩
- 石本詩 兒島環奈
- 兒島環奈 兒島楓奈
- 兒島楓奈 舟川風紗
- 舟川風紗 近藤楓乃
- 近藤楓乃 イートン和真
- イートン和真 山室里月
- 山室里月 大喜多陽
- 大喜多陽 矢田目莉奈
- 矢田目莉奈 池田那
- 池田那 濱中紀帆
- 濱中紀帆 中村俐稀
- 中村俐稀 松本心子
- 松本心子 長谷川絢士
- 長谷川絢士 亀田湊仁
- 亀田湊仁 中村仁
- 中村仁 小山吟大
- 小山吟大 重松美緒
- 重松美緒 伊倉匡輝
- 伊倉匡輝 島山麦
- 島山麦 遠山雄大
- 遠山雄大 小林怡旺
- 小林怡旺 大倉皓太
- 大倉皓太 森柚月
- 森柚月 石原英葉
- 石原英葉 安達詩紘
- 安達詩紘 田中桜都
- 田中桜都 外山鈴珠
- 外山鈴珠 岩田泰社
- 岩田泰社 屏袖月乃
- 屏袖月乃 木村茜
- 木村茜 貝吹水都
- 貝吹水都 小林花帆
- 小林花帆 川端琴葉
- 川端琴葉 杉本頼恩
- 杉本頼恩 森蒼将
- 森蒼将 芹澤侑来
- 芹澤侑来 長澤咲月
- 長澤咲月 長澤梨月
- 長澤梨月 下之園昊汰
- 下之園昊汰 西川耀
- 西川耀 田中直徳
- 田中直徳 谷川直徳
- 谷川直徳 高橋ひまり
- 高橋ひまり 吉村美穂
- 吉村美穂 岡田想乃香
- 岡田想乃香 小林明佳
- 小林明佳 小市拓澄
- 小市拓澄 稲葉菜
- 稲葉菜 櫻庭一
- 櫻庭一 楠原結栞
- 楠原結栞 工藤要絃
- 工藤要絃 二瓶いつか
- 二瓶いつか 永利響
- 永利響 稲葉文也
- 稲葉文也 小畑燈里
- 小畑燈里 平方葉子
- 平方葉子 山本菜
- 山本菜 平田千晴
- 平田千晴 廣澤澄
- 廣澤澄 佐々木美織
- 佐々木美織 林真叶
- 林真叶 北岡菜奈
- 北岡菜奈 鎌田ひかり
- 鎌田ひかり 杉山いろは
- 杉山いろは 土屋ななみ
- 土屋ななみ 南沢吳
- 南沢吳 野尻みう
- 野尻みう 田中千尋
- 田中千尋 林田英緒
- 林田英緒 藤田一慧
- 藤田一慧 廣橋葉
- 廣橋葉 伊藤詩恵
- 伊藤詩恵 森田莞椰
- 森田莞椰 渡部天喜
- 渡部天喜 佐藤璃一
- 佐藤璃一 山本依都葉
- 山本依都葉 三橋悠晟
- 三橋悠晟 大貫朝陽
- 大貫朝陽 井上椋月
- 井上椋月 水越紬心
- 水越紬心 芝田会李
- 芝田会李 島村依那
- 島村依那 田中璃娃
- 田中璃娃 安部篤輝
- 安部篤輝 石塚凜
- 石塚凜 猪狩和瑚
- 猪狩和瑚 長谷川ジャコバ
- 長谷川ジャコバ ス優風
- ス優風 有福太葵
- 有福太葵 山口千兎
- 山口千兎 櫻尾怜
- 櫻尾怜 須原楓偉
- 須原楓偉 上野大樹
- 上野大樹 長島世奈
- 長島世奈 藤田真由
- 藤田真由 岡崎佳泉
- 岡崎佳泉 高際利七
- 高際利七 嶋田理沙
- 嶋田理沙 中村智勇
- 中村智勇 松尾柚輝
- 松尾柚輝 伊藤祥吾
- 伊藤祥吾 四戸蒼央羽
- 四戸蒼央羽 小梅川蒼葉
- 小梅川蒼葉 金子芽衣

とんぐり通信

魔法の黄緑バツジ

副主任 奥村佳代子

3月15日、年少・年中組の修了式を無事終えることができました。

当日、年中の子どもたちに「今日は年中組最後の神社に行く日だから、心を落ち着けて、きちんとした気持ちで行きましょうね。」と伝えると、子どもたちも「はい。」と言ってベレー帽を被り、ブラウスの襟を上着から出し、靴下の上にあげ、友だちの襟なども出してあげながら準備をしました。そして、クラスごとに背の順で静かにご神殿の前に並び、神職さん方にお祝いと祝詞をあげていただきました。君が代・



神前拝詞を唱えました。長時間でしたが後ろから見ていると、しっかり動かず立っていること、頭の下げ方、お話の聞き方など、皆頑張っていました。きっとそれは毎月1日、15日に参拝にご神殿へ出向いていることで一つひとつが身につく、この日の姿になっていることに大きな成長を感じ、もう年長さんの準備ができていことに嬉しくなりました。その後、園に戻りクラスごとに年中で過ごしたことを思い出しながら、皆で頑張った事、協力しあった事、初めはできなかった事ができ



るようになった事、色々話してみると子どもたちからも「そうだね！僕もそうだった！」とうなずいていました。そこで、「いよいよ皆は？」と聞くと「年長さん！」と声を合わせて答えてくれたので、一人ひとりお便り帳を返して、皆で「1、2、3」で開いてみると、そこにはピカピカのふじ組と書かれた黄緑色のバツジが入っていました。「やったー、年長さんだ！」と大喜びで「先生、朝日子舞を踊るんだよね、高尾山に登るよね、疲れるのかな？大丈夫だよ！献茶式もあるよね？まだ練習したばかりだからな！」などなど黄緑バツジを見ただけで、今までお兄さんお姉さんがやってきた事をどこかで見ていて、子どもたちなりに楽しみにし、少しドキドキしていることを知りました。また、大宮幼稚園の年長さんでは私たちがだけでなく、お茶の先生や切画の先生、陶芸の先生にその時その時に専門の先生方にお越しいただき、本格的な所作、動作、道具の持ち方、使い方、作り方、先生方のエネルギーも感じさせていただけの貴重な保育を体験しています。その中で沢山の事を経験し、一人ひとりどこかで何かを感じ、心に残ってくれたら良いなと思っています。「やったことがある、知ってる。」という事を増やして今までの卒園児同様に大きく羽ばたいてほしいです。魔法の黄緑色のバツジを付けて4月から年長さんになりました。やる気いっぱい今年の子どもたちとわたしたしも1年間楽しみたいと思います。



- 中村丞善 清水結斗
- 吉村百葉 山口昂
- 馬鳥滉大 新井千秋
- 高山凜 立花文乃
- 本田凜 竹内湊人
- 丹野すず 小島灯織
- 美山一翔 野田さと
- 長谷美衣南 渥美結衣
- 森屋碧人 後藤汰鳳
- 石川未菜 雀ヶ野央人
- 杉木紗菜 一河桐矢
- 平岡師央 新井賀子
- 吉田達暁 高岸椋花
- 千北椋斗耶 佐藤充
- 柳瀬知勇 大橋穰
- 加納彰人 坂本遥音
- 堀川将暉 大橋茉白
- 吉澤佑希乃 佐藤光
- 林怜花 高木玲来
- 中村琉唯 宮下蒼央
- 堂前秋兎 氏福聖奈
- 吉越蓮華 佐藤椋子
- 奥野湊 藤井暖
- 池田梨乃 上総晃
- 渡邊紗那 伊藤明希
- 深見紗那 山崎康介
- 渡邊このみ 長塚暁大
- 土井陽仁 一川詩月
- 糸賀紬 橋本茉佑
- 酒井細風 吉田吏玖
- 熊野千裕 澤井珠里
- 猪口寛太 高井茉央
- 渡辺萌叶 岩橋紗希子
- 芳賀風 本間陽登
- 神田琴葉 片岡茉裕
- 竹内翔星 金個怜央
- 島山丈 田中詩萌
- 進藤凜優 奥村麟政
- 古野悠月 榎原和海
- 飯島百代子 坂本湊
- 増原碧 藤原沙羅
- 山野眺大 藤田時綺
- 小尾優和 田尻千尋
- 志波翼 平松侑奈
- 加川その 日下部彬乃
- 小保方紬心 鈴木千尋
- 三嶋楓 奥叶多
- 浦田ゆずか 佐々木渚楓
- 山崎景 尾形優月
- 木村俐月 内藤暖
- 渡辺明日香
- 下山愛生
- 大澤ミリア
- 小川眺大
- 小玉樹生
- 森結菜
- 山下薫
- 宮内悠宇
- 松園千絃
- 相馬颯人
- 九十歩央斗
- 千葉明里
- 吉田萌花
- 堀越紫帆
- 森川陽斗
- 山本千晴
- 西野絃
- 藤田耀志
- 桐山怜
- 皆川景
- 長谷川想
- 中村維月
- フアリード
- サミアフマド
- 鈴木結人
- 長村奏志
- 炭田なのは
- 熊井悠人
- 久保葵
- 仁里洋介
- 横山遙
- 川上大翔
- 古屋瑠朱
- 高橋睦生
- 小林碧
- 松村柚輝
- 森田維月
- 徳永多笑
- 山本唯央利
- 佐藤瑠威
- 古川和
- 福田千尋
- 関口ねね
- 三上捺梅
- 穂積碧
- 中山路悠
- 海老沢恵斗
- 塚田陽
- 永井燈
- 渡邊悠絃
- 加藤暖
- 久保光輝
- 細谷侑里
- 高橋杏心
- 近藤快飛
- 石田楓
- 大塚百桃
- 藤井敢大
- 酌河内蒼惟
- 嶋崎斗里
- 中山快理
- 張江榮
- 笹田桔未
- 北島羽月希
- 澤田寅之介
- 安藤慶
- 辻泰成
- 大熊夏輝
- 水守颯志
- 福井悠夕
- 井上貴晴
- 室井優杏
- 元谷くるみ
- 細田采希
- 濱守来実
- 安岡隼
- 長森由糸乃
- 梅原丈
- 島川瀨以
- 澤村拓実
- 谷口蒼土
- 中村光希
- 渡邊光
- 山崎楓真
- 小山葵一
- 西山心椰
- 田辺圭
- 田中晴
- 濱田仁
- 渡邊寛明
- 渡邊佐音
- 永井咲怜
- 細川誠人
- 鈴木誠七
- 長野航己
- 宮嶋莉一
- 宮川智颯
- 尾形優月
- 藤原航利
- 高橋昂琉
- 木田彩汐
- 佐藤湧
- 幸田紗
- 江藤陽央
- 酒井岳玖
- 福田葵
- 濱井空吟
- 小路心温
- 森田由香子
- 瀬戸山嶺
- 佐野正弥
- 齋藤柊花
- 矢田惇太郎
- 竹原篤志
- 河合彩香
- 前田桐
- 相馬有珠希
- 渡邊悠莉
- 福田すずか
- 安増龍信
- 夫仁維菜
- 濱田柊菜
- 森野仁琴
- 志村飛和
- 梅田六花
- 佐藤光
- 柴田すずか
- 村澤楓乃
- 安藤汰優
- 館石旺来
- 高木扇
- 川村柊斗
- 齋藤莉久
- 隈本瑞基
- 隈本将生
- 白根琴
- 村川瑠奈
- 丸山紗奈
- 朝倉彩葉
- 三角莉乃華
- 馬場工
- 本居未奈
- 多田桃也
- 品川瑠那
- 植田和樹
- 榎木菜々心
- 岩本健
- 豊泉恵玲奈
- 國分元稀
- 横山歌乃
- 星美有
- 富山袖月
- 吉田晴
- 千代雪風
- 足田桃丸
- 戸塚詞
- 加瀬澤美芭
- 佐藤瑚枝
- 西村一知花
- 片岡莉菜
- 山下貴大
- 三木遥翔
- 岡田涼
- 長谷川敦士
- 鈴木結馬
- 沼尻悠樹
- 池澤楓
- 両角慧
- 井本琴音
- 川久保翼
- 清川怜
- 村上洗
- 村口瑞都
- 芳賀風真
- 島崎花
- 島田紬葵
- 若林知十世
- 座間紬
- 小池結翔
- 澤本結登
- 本郷ほの香
- 吉川理湖
- 小田湊仁
- 小林蒼
- 石塚紬
- 戸田知来
- 佐久間柊蒼
- 久保田智温
- 西野たけ
- 今中杜織
- 遠藤由貴
- 山本心翔
- 宇田川美麗加
- 岩切心春
- 大野和都
- 大場窓
- 川原初音
- 松田るりか
- 渡部星名
- 望月翔
- 青木玲寧
- 鎌田澪
- 芝原ひなた
- 荒川琴音
- 宮本莉空
- 苗代細希
- 畑原風岐
- 松井蒼空
- 常深真奈
- 西田權
- 坂本伊颯
- 山埜袖月
- 山内樺音
- 井浦綾菜
- 大沼直央
- 青野律人
- 田添航基
- 今井琉斗
- 大石怜奈
- 石丸生風
- 竹田琴葉
- 西川琴葉
- 長嶺歩希
- 長谷川瑛咲
- 萩本景禾
- 高丘菜生
- 柳井源
- 牛山央都
- 渡辺樹季
- 山本一華
- 大高義生
- 本部結愛
- 内出有香
- 北條達郎
- 松本耀
- 並河律月
- 木目沢彩晴
- 島唯楓
- 大貫勲
- 福本柀司
- 戸塚智哉
- 小林玲和
- 成瀬結月
- 金子理希
- 野田彩葉

結婚式挙式者芳名(敬称略)

- 高橋佳宏・あい
- 鈴川慶二郎・弥生
- 片山拓弥・晴夏

十三参り祈願のご案内

古来より数えて13歳になった少年少女が盛装して氏神様に参拝し、お祓いを受ける行事です。

13歳という年齢は自分の生まれた「えと(十二支)」が丁度一巡りして元の「えと(十二支)」に戻る年であることから、これまで健やかに成長できたことへ感謝するとともに、これから知徳・福徳・美声等を授かるためにご祈願いたします。

関西地方(特に京都)では七五三と共々に大切な人生儀礼となっています。

緑豊かな都心の杜。感動の瞬間

初宮詣 集宴会

衣装・美容着付・写真・初宮饗膳(ご会食)など承ります。

清涼殿

03(3312)7515

祝七五三詣

七五三衣裳展示会は随時行っております 事前にご予約のご連絡をお願いします。

七五三年齢表

七歳 女兒 平成30年生
 五歳 男児 令和2年生
 三歳 男・女児 令和4年生

※生まれ年と年齢は数え年によるものです。満年齢でお受けいただいても差し支えございません。

わかば祭り(春の大祭) 5月3日～5日

わかば祭り 第一日ノ儀 こどもの祭り(稚児健康祈願祭)〔3日〕

第43回 稚児行列に、吹奏楽・スカウト・猿田彦・役員総代・こども太鼓山車など多くが供奉。



こどもの祭り(稚児健康祈願祭)



猿田彦を先導に役員・りんどう会と続く



太鼓山車を曳く子どもたち

わかば祭り 第二日ノ儀 植樹祭〔4日〕



植樹祭

わかば祭り 当日祭(尚武祭)〔5日〕



宮司以下祭員の参進



大宮幼稚園園児による朝日子の舞奉奏

大祭期間中(3～5日)、境内では連日神賑行事が奉納されます。
参道には露店が出店、大宮八幡植木市も行われます。



佼成学園吹奏楽部
奉納演奏

〔3日〕



江戸消防記念会第九区
奉納梯子乗り

〔3日〕



古武道武技奉納

〔4日〕



杉並太鼓奉納

〔4日〕



野点茶会(チャリティ)

〔5日〕



雅太鼓奉納演奏

〔5日〕



方南エイサー踊り奉納

〔5日〕

大 宮 第129号
令和6年春の大祭号

令和6年5月1日発行

大宮八幡宮社務所

〒168-8570

東京都杉並区大宮2-3-1

電話 (3311) 0105

FAX (3318) 6100

Mail: info@ohmiya-hachimangu.or.jp